ふれあい清和

発行：
君津市清和地区
社会福祉協議会
編集：広報委員会
電話：(37) 2610

君津市社会福祉大会開催

「いつまでも住み続けたい支えあいのまちをめざして」をテーマに、第48回君津市社会福祉大会が１月30日に君津市民文化ホールで開催されました。

清和地区からは、地区社会福祉協議会役員や福祉関係者が多数参加しました。

はじめに、式典の部では、多年にわたる社会福祉活動に貢献された方への表彰状・感謝状が贈呈されました。

清和地区社会福祉協議会からは、八名の皆様が受賞されました。高橋洋子さん、伊田富士子さん、鈴木清乃さん、豊嶋美代子さん、鎌田真由美さん、川俣守さん、作本好榮さん、茅野功さんへ、君津市社会福祉協議会長から表彰状が授与されました。地域福祉の担い手として、永年にわたるご尽力に対しまして、感謝申し上げます。

また、大会席上で、令和元年度における福祉関係顕彰者の伝達をはじめ、作文コンテストや福祉の標語コンクール等の入賞者への表彰も行われました。

続いて後半は、「木久蔵流笑顔でつなぐ地域コミュニケーション やっぱり笑うが一番」という演題で、落語家、二代目林家木久蔵氏の講演がありました。笑うことの効用をはじめ、落語家の世界やしきたりなど幅広いお話となりました。

講演終了後、舞台に用意された高座で古典落語でおなじみの演目「親子酒」の一席が披露され、午後４時を過ぎて閉会となりました。

いきいきこの人

笹本　さだ さん(９０歳)

東日笠在住

この度は、東日笠の笹本さださんをお訪ねしました。数年前ご主人を亡くされ、３人のお子さんも家を離れているため、現在はひとり暮らしとの事です。暖かい日ざしの中でたくさんのお話を聞かせていただきました。

若いころのお仕事は？との問いに「３０歳から５８歳まで、鹿野山のカントリークラブでキャディマスターとして働きました。当時は今のようにカートは無く、キャディのみのため、二百数十名はいたと思います。」通勤はどのように？「従業員バスで送迎してくれたので良かったですよ。」お仕事は大変でしたか？「いや、当時は若かったし、働くことに一生懸命だったので、そんなに苦には感じなかったね。むしろ今思えば楽しいことのほうが多かったかな。」とその頃を思い出すかのように明るく楽しそうに話されました。

一人での生活は大変ではありませんか。と伺うと「子供達も一週間に一度洗濯物など身の回りのことを心配して来てくれるし、市役所に勤めている孫がたびたび気にして来てくれるから楽しみはあっても淋しさはさほど感じず暮らしていますよ。それに火曜日と金曜日の週２回は近所の介護施設にディサービスに行くしね。そこでは知り合いが多いので楽しく話もできるし幸せですよ。」「日頃の食事も三度きちんと食べているし、好き嫌いもありません。」とのことでした。９０歳という年齢を感じさせない応答に私たちも驚きました。これからもますますお元気で。

（澤・岡・小）

令和元年度福祉の標語コンクール　優秀賞

学校名	学年	氏名	標　語
秋元小	4	佐藤　雅	どこででも　あいてをおもう　やさしさを
秋元小	5	金見　優菜	始めましょう　自分サイズのボランティア
三島小	2	服部　聖	こえかけて　げんきをかくにん　おとなりさん
三島小	5	鹿島　凛	うけとった　笑顔のバトン　広げよう
周東中	1	髙橋　日向子	自分から　探してみよう　できること
周東中	2	小塙　珠己	広げよう　地域の絆を　あいさつで
周東中	3	笹本　房之助	ありがとう　みんなをつなぐ　あいことば
周東中	3	橘田　侑大	助け合う　小さな勇気が　キーワード

「世代を越えた交流 多世代交流グラウンドゴルフ」

レクリエーションスポーツを通じて多世代間の交流を図ることを目的に、「多世代交流グラウンドゴルフ大会」（清和青少年健全育成連絡協議会主催、清和地区社会福祉協議会など後援）が11月12日（火）に秋元小、三島小の児童、シニアクラブ・九十九会会員、社会福祉協議会役員等が参加し、開催されました。

前日の雨により開催が危ぶまれましたが、当日は晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和となりました。三島小学校の児童の司会により開会式が行われ、九十九会役員によるルール説明の後、プレーが開始されました。

日頃からグラウンドゴルフのプレーをする機会のない子どもたちは、シニアクラブの皆さんの上手なプレーに感心し、打ち方の力加減やプレーのコツなどを教わり、上手にプレーできるようになっていき、夢中でグラウンドゴルフを楽しんでいる様子がほほえましかったです。シニアクラブの方々も子どもたちからパワーをもらって楽しい時間を過ごされていました。

プレー後の閉会式は、秋元小学校児童の司会により行われ、社会福祉協議会から子どもたちに参加賞が手渡され、子どもたちは喜んでいました。シニアクラブの方々と子どもたちが一緒にコースを周ることで、普段、同じことをする機会が少ない参加者にとって、世代を超えた交流がうまれ、地域コミュニティの向上につながったものと思っております。

【写真は裏面掲載】

甘酒、餅つき、豚汁
新春ちびっこ大会大盛況

令和２年１月11日(土)清和公民館で新春ちびっこ大会が行われました。主催は清和地区青少年相談員連絡協議会、清和公民館。共催である清和地区民生委員児童委員協議会、清和地区福祉協議会は主に豚汁作りと餅つきを担当していただきました。女性たち中心に豚汁、餅つきは男性たちが中心となりました。今年も秋元小学校の農園から大根・ごぼう・里芋を、ねぎは青少年相談員の古澤会長さんよりたくさんいただき、その他かまど、釜、臼、杵など多くの材料道具は善意による品々です。当日は晴天に恵まれ、多くの子供たちや大人が集まり、凧揚げ大会も無事開催され、餅つきや豚汁にもたくさんの人々が集まりました。特に臼と杵でつく餅つきには小さい子まで参加し、楽しそうに体験している姿がほほえましい限りでした。清和の大人たちからの愛情あふれるこの行事に参加した子供たちが、今後、どう成長していくか、本当に楽しみになりました。

高齢化社会が進む昨今、昔の伝統的な遊びや食文化も、時代とともに大きく変わってきています。継承していける世代が高齢化している今だからこそ、このような行事は大切にしていきたいと思っています。多くの方々の協力に感謝しつつ、今後への更なる協力をお願いいたします。(公民館長)

役員ボランティア合同研修会

清和地区社会福祉協議会役員及び協力ボランティアの合同研修会が、昨年の11月14日(木)に実施されました。

会長は挨拶で、「今年は台風による被害が甚大で、地域の祭りをはじめ多くのイベントが中止になっているので自粛も考えたが、辛い時だからこそ前を向いて活動することに意義があると考え、実施に踏み切った。」と話された。

今年の研修先は伊豆方面で、最初の訪問地は「三島スカイウォーク」でした。

小田原から箱根峠を越えて下っていく途中にありました。歩行者専用の吊り橋としては、日本最長の４百メートル、一番高いところで地上から七十メートルあるというとこで、すごいスケールでした。この日は風が強かったので、大きくゆれて恐怖のあまり途中で引き返す人も多くいました。

次も訪問地は「三島大社」でした。源頼朝が源氏再興を祈願したことで知られていて、三島地区にある三島神社と関係の深い大社ということです。

山門前で記念撮影の後、グループごとに思い思いに参拝したり、境内を散策したりしました。

最後の訪問地は「伊豆の国パノラマパーク」でした。強風のため葛城山の空中公園に行くロープウェイの運航は停止していました。公園からの富士山や駿河湾の絶景が見られず残念でした。

昼食は併設されているバイキングレストランで伊豆の海の幸・山の幸を堪能しました。

今回は移動時間が長かったので訪問地だけでなく、バス内で「台風の被害の状況や停電・断水が続く中、どのように対処したか。今後、どのような備えが必要か。」等の話をしたり、これから行く見学地や車窓からの景色を話題にするなどして交流を図ることができました。